

新刊案内

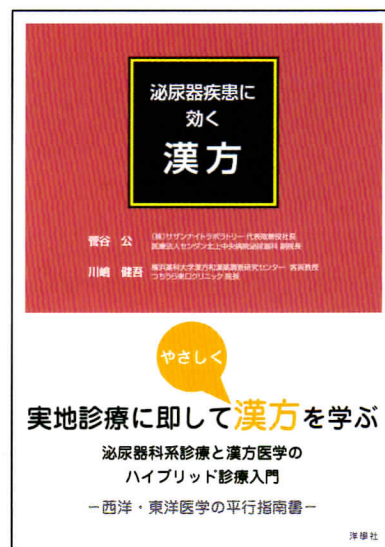
泌尿器疾患に効く

漢方

菅谷 公男 (株)サザンナイトラボラトリー 代表取締役社長
医療法人セングン北上中央病院泌尿器科 副院長

川嶋 健吾 横浜薬科大学漢方と漢薬調査研究センター 客員教授
つちうら東口クリニック 院長

A5判・総頁数220・本文204・55図(3カラー)・12表
定価(本体 2,700円+税) ISBN978-4-908296-03-1



漢方診療を志す泌尿器科医はもとより、泌尿器科系診療に携わる医師方々にもご一読いただきたい一冊。漢方の基礎から臨床応用までを西洋医学と並行して詳解します。

目次

第1章 漢方医学と西洋医学が共存する新たな医療の時代

1. 漢方医学を扱うメリット
2. 漢方は西洋医学のエビデンスの背景を考える医学
3. 西洋医学と漢方医学を共存させる根拠となる標本同治
4. 漢方医学の根幹となるシステム論の基本的な考え方
5. 漢方医学が考える病気の概念
6. 漢方薬の特徴
7. 漢方薬の効果と副作用
8. 甘草の効果と副作用
9. 臨床にすぐに役立つ漢方医学の学び方
10. 漢方医学と西洋医学の着眼点の相違

第2章 漢方医学の基本

1. 太極、陰陽、気血水、五行
2. 臨床で実証されている漢方医学の重要な基本法則
3. 漢方の証
 - 1) 証は一つではない
 - 2) 虚証と実証
 - 3) 日本漢方の証「方証相対」と中医学の証「弁証論治」
 - 4) 証を把握する診断技術について推薦図書
4. 漢方における腎の概念と八味地黄丸

第3章 泌尿器科領域の漢方薬適応疾患

1. 夜尿症
2. 膀胱炎
3. 過活動膀胱

4. 腹圧性尿失禁
5. 前立腺肥大症
6. 前立腺炎
7. 精巣上体炎
8. 陰嚢水腫
9. 腎結石症・尿管結石症
10. 勃起障害

第4章 主要な頻用処方への適応ポイント(科学的エビデンスを含む処方解説と類似処方の鑑別ポイント)

- 桂枝茯苓丸(けいしぶくりょうがん)
- 五淋散(ごりんさん)
- 猪苓湯(ちよれいとう)
- 補中益気湯(ほちゅうえつきとう)
- 小建中湯(しょうけんちゅうとう)
- 八味地黄丸(はちみじおうがん)
- 清心蓮子飲(せいしんれんしんいん)
- 芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)

第5章 漢方薬の疑問点・問題点(次の一步を踏み出すために)

1. 漢方薬を選択するうえでの疑問点・問題点
2. 漢方薬を処方するうえでの疑問点・問題点
3. 漢方薬を内服するうえでの疑問点・問題点

附録表

ご注文は書店、Web書店、小社まで

洋学社

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6-9神戸ファッションマート5F

電話(078)857-2326/FAX(078)857-2327 <http://www.yougakusha.co.jp>